



<定点把握感染症>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第13週	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	第13週	第14週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(46)			(10)			(10)			(4)			(9)			(13)			
インフルエンザ	8567 1.73	192 4.09	149 3.24	▼	19 1.90	73 3.65	34 3.40	▼	17 4.25	7 1.75	▼	70 7.00	58 6.44	▼	32 2.46	31 2.38	▼			11951
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(6)			(7)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1539 0.49	4 0.13	5 0.17	△		2 0.15		▽	1 0.33	△		2 0.33	4 0.67	△						85
咽頭結膜熱	1088 0.34	13 0.43	10 0.33	▽	2 0.33	9 0.69	2 0.29	▽	1 0.33	△		3 0.50	3 0.50		1 0.13	2 0.25	△			168
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6551 2.07	107 3.57	90 3.00	▼	10 1.67	36 2.77	16 2.29	▼	12 ◎4.00	14 ◎4.67	△	36 ◎6.00	44 ◎7.33	△	23 2.88	6 0.75	▽			1622
感染性胃腸炎	16385 5.17	156 5.20	169 5.63	△	32 5.33	64 4.92	36 5.14	△	4 1.33	8 2.67	▲	69 11.50	43 7.17	▼	19 2.38	50 6.25	△			2862
水痘	1075 0.34	12 0.40	7 0.23	▽	1 0.17	4 0.31		▼	6 ◎2.00	2 0.67	▽	2 0.33	3 0.50	△						173
手足口病	609 0.19	14 0.47	9 0.30	▽	6 1.00	4 0.31		▽	10 3.33	3 1.00	▽									94
伝染性紅斑	1594 0.50	42 ◎1.40	29 0.97	▽	11 1.83	30 ◎2.31	5 0.71	▽	6 ◎2.00	6 ◎2.00		3 0.50	3 0.50		3 0.38	4 0.50	△			713
突発性発しん	1180 0.37	14 0.47	13 0.43	▼	3 0.50	4 0.31	2 0.29	▼		1 0.33	△	6 1.00	4 0.67	▽	4 0.50	3 0.38	▼			208
ヘルパンギーナ	95 0.03																			11
流行性耳下腺炎	277 0.09	1 0.03		▽		1 0.08		▽												19
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	12 0.02																			
流行性角結膜炎	417 0.60	1 0.13		▼											1 0.50		▽			51
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	208 0.43	2 0.20	6 0.60	△	6 3.00	1 0.25		▼				1 0.50		▽						28
クラミジア肺炎	6 0.01																			
マイコプラズマ肺炎	65 0.14	5 0.50		▽		3 0.75		▽							2 0.67		▽			29
細菌性髄膜炎	10 0.02																			2
無菌性髄膜炎	6 0.01																			2

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<全数把握感染症>

疾患名	報告数	備考
アメーバ赤痢	1(置賜1)	
侵襲性肺炎球菌感染症	1(山形市1)	ワクチン接種歴:不明。
百日咳	1(村山1)	ワクチン接種歴:4回。
結核	3(村山3)	※第13週追加報告分3人。
梅毒	1(庄内1)	※第13週追加報告分。

<通信欄>

山形市保健所の開設に伴い、第14週より週報のレイアウトが変更となっています。

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型146件、B型3件です。集団発生の報告は、村山保健所管内1件(保育所:1)、庄内保健所管内2件(社会福祉施設:2)です。※トピックスで百日咳について掲載しています。

【速報】第15週に村山保健所管内で、風しんの患者が1人報告されました。(4月8日プレスリリース)

※警報・注意報の基準値

疾患	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	1	1	18	11	12	17	8	1	4	9	2	20	5	9	合計
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		1	3	1											5
咽頭結膜熱	1	1	3	2	1	1						1			10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	3	6	10	15	16	10	6	5	5	7			4
感染性胃腸炎		22	27	25	18	17	12	10	10	5	8	11			4
水痘					1	1	3	1	1						7
手足口病		1	2	1				2	2			1			9
伝染性紅斑		1	2	1	2	1	9	4	4	2	2	1			29
突発性発しん		4	8		1										13
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎															

< 平成31年2月 月報 >

2019年3月20日 発行

疾患名	山形県		山形市		村山		最上		置賜		庄内		果敢(県)	
	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)				(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	10	17			8	12			1	2	4	27	
	定点当り	1.00	1.70			2.00	3.00			0.50	0.67	1.33		
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	7	12			3	4		4	4			19	
	定点当り	0.70	1.20			0.75	1.00		4.00	2.00	2.00			
尖圭コンジローマ	報告数	3	1			3						1	4	
	定点当り	0.30	0.10			0.75						0.33		
淋菌感染症	報告数	3	3			2	1			1	1	1	6	
	定点当り	0.30	0.30			0.50	0.25			0.50	0.33	0.33		
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)				(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	7	5			1			2		6	3	12	
	定点当り	0.70	0.50			0.25			2.00		2.00	1.00		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	19	25			13	11	1		2	1	3	13	44
	定点当り	1.90	2.50			3.25	2.75	1.00		1.00	0.50	1.00	4.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													
	定点当り													

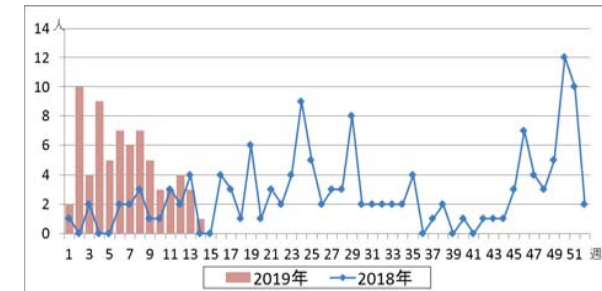
< トピックス >

百日咳について

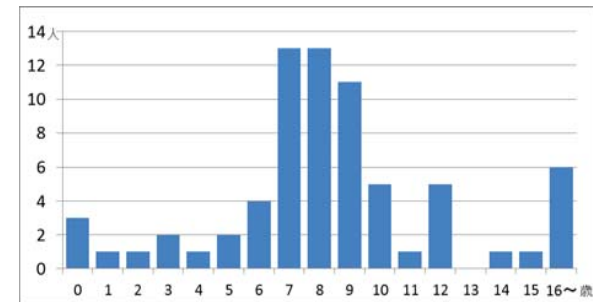
百日咳は、百日咳菌に感染することにより、けいれん性の長引く咳症状を生じる呼吸器感染症です。山形県では今年、既に69人の患者が報告されています。地区別では、村山地区 66人、庄内地区 3人となっています。年齢別では、7～9歳の患者が多く、重症化しやすいとされる0歳児も3人報告されています。

百日咳は、インフルエンザの3～10倍といわれるほど強い感染力を持っています。周りの人への感染を防ぐためにも、咳が長引く場合は医療機関を受診しましょう。

1. 週別報告数(山形県)



2. 年齢別報告数(山形県 2019年第1～14週)



大人も子供も長引く咳には要注意！
早めに医療機関を受診しましょう。

赤ちゃんのいる家庭の方は特に注意しましょう

